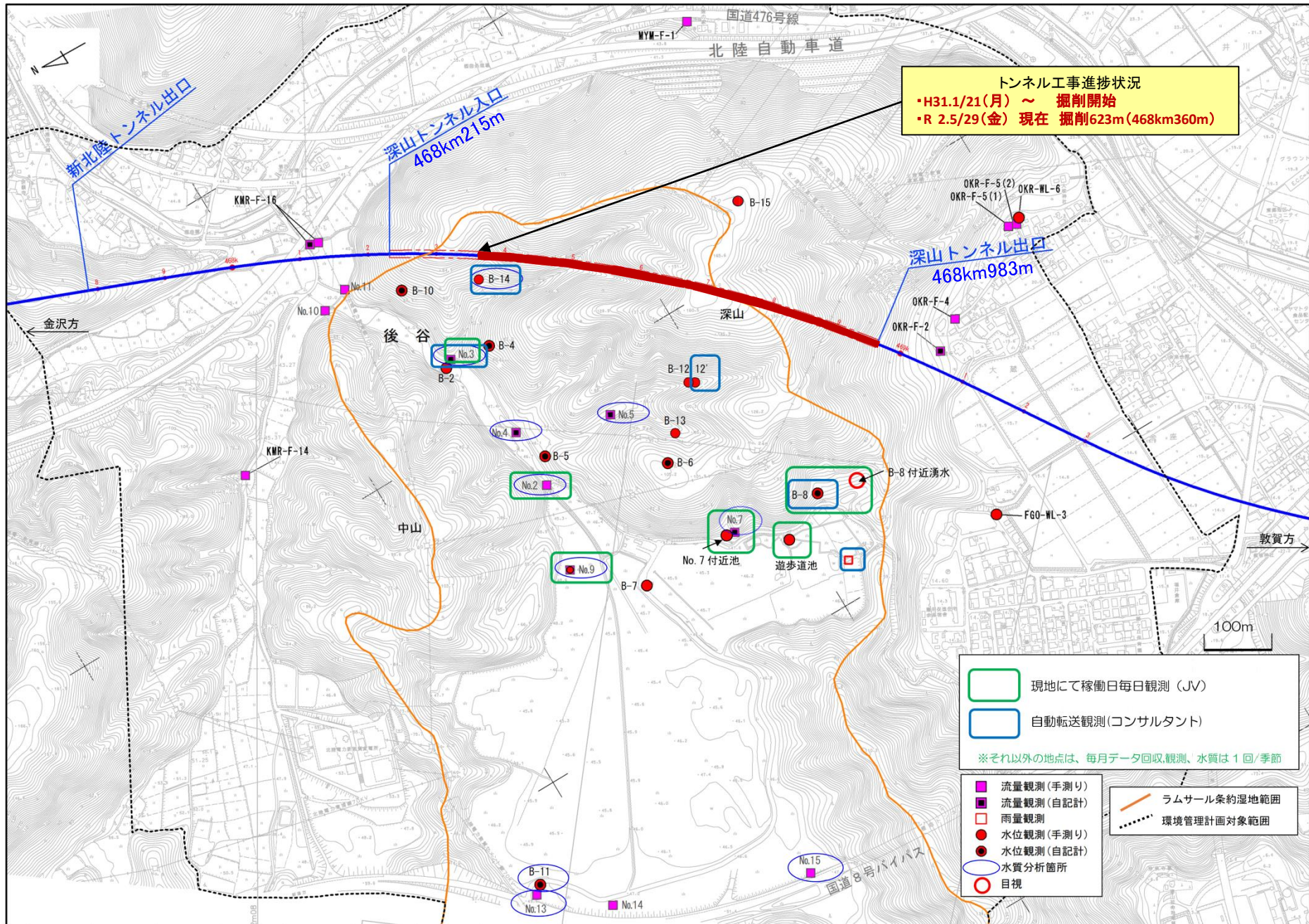


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間: 令和2年5月1日(金)～令和2年5月31日(日)

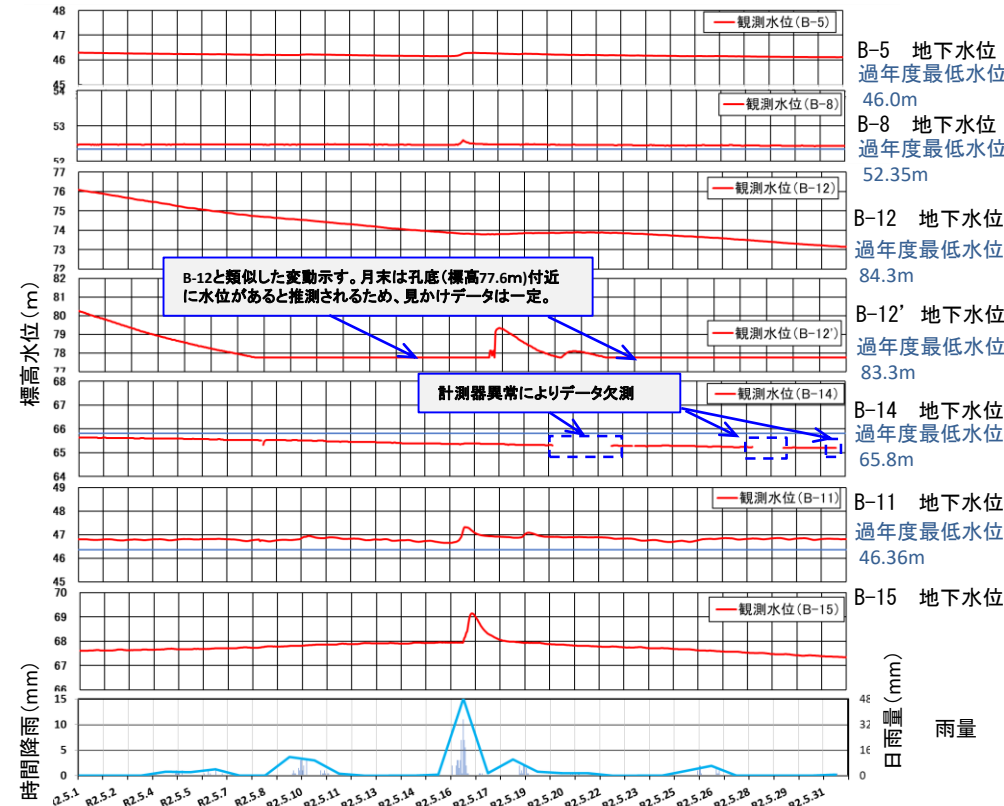
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



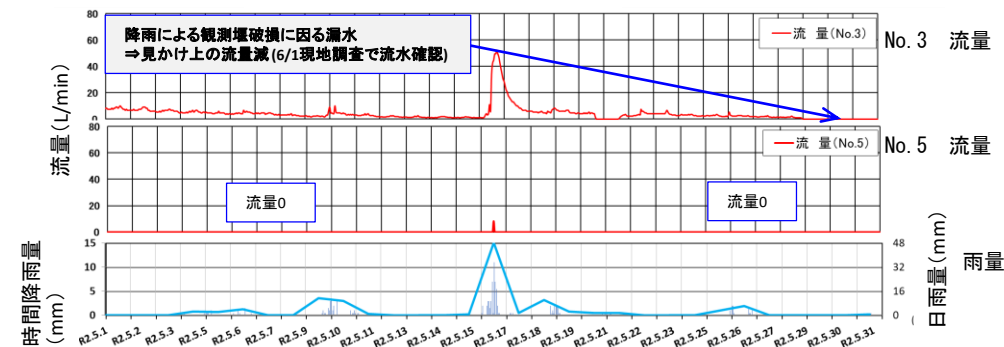
水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



全体総括

□目立った変動なし ■やや変動あり

□変動あり(注意体制への移行を検討)

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加: B-2, B-5, B-7, B-8, B-11, B-13, B-14

■2m未満: B-4, B-10 ■5m未満: B-6, B-12, B-12' □5m以上

期間中の流量低下量

■50ℓ/分未満ないし増加: すべて □50ℓ/分以上

期間中のpH変動量

■0.5未満: B-8, B-12 □0.5以上 □1以上

日降水量

□15mm未満 ■15mm以上: 1日 □50mm以上

月降水量

□80mm未満 ■80mm以上 □130mm以上 □200mm以上

概要

■水位変動について

- ①やや変動あり。
- ②B-8(自動転送): 大きな水位低下はみられない。過年度最低水位とほぼ同じ水位。
- ③B-12(自記水位計): 今月は全体を通して水位低下となり、先月に引き続き過年度最低値を下回っている(先月△8.2m⇒今月△11.1m)。⇒今後も注視していく。なお、pHの値の変化はみられない。
- ④B-12'(自動転送): 本期間は半ばの降雨で一時的に上昇するが全体ではB-12と類似した下降傾向と考えられ、水位は孔底付近と推測される。先月に引き続き過年度最低水位を下回っている(先月末4.0m⇒今月△5.6m以上)。B-12に近接しているため同様な状況が推測される。今後も注視していく。
- ⑤B-14(自動転送): 本期間は少量の水位低下を示し月末の水位標高は65.2mで過年度最低水位(65.8m)を下回った状況である。トンネル切羽が離れていくが引き続き注視していく。
- ⑥B-15(自記水位計): 本線を挟んで反対側に位置するB-12に比べ降雨の反応は小さい。全体を通して水位は概ね一定である。比較的路線に近い観測地点でもあるので、今後も注視していく。
- ⑦No.3(自動転送): 5/28頃より流量0を示すが、わずかな流量はJVによる日々の点検で確認され、6/1現地調査時(堰メンテナンス後)に観測地点での流水を確認している。⇒無降雨日も多かったことも要因のひとつとして考えられる。(※少雨の場合、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている場合もあると考えられる。)
- ⑧No.5(自記): 5/16の降雨以外流量0となる。⇒同上

■降水量について

・5月の日降水量の最大を記録した日は、5/16の48.5mmであった。

⇒4月の日最大降水量は33.5mmであった。

・5月の月降水量は106mmである。

⇒4月の月降水量は178.5mmであった。